

矢巾の四季〈冬〉



スミつけ祭り(2月第1土曜日)

四百数十年前から受け継がれている奇祭。杉枝の大山の中に観音様を掘り込んだ木柱を入れて燃やし、消し炭をお互いの手や顔へとこすりあう。別名 歳祷焚き(せあどたき)と呼ばれ、スミをつけられた人は災難消除や無病息災が叶うと言われています。

同時開催の冬イベントでは、冬を楽しめる様々な催しも。



矢巾町消防団出初め式(1月)

消防団員及び盛岡南消防署矢巾分署所属の消防隊員約200人が参加し、行進の披露や1年間の決意表明を行います。

矢巾町交通指導隊初点検(1月)

